



荒川区で生まれた、名作アニメを見に行こう！

ゆいの森あらかわで「エイケンアニメ展」開催中！

▲展示されているセル画やキャラクター設定資料は、間近で見ると人の手で作られた温もりが感じられ新しい発見があります。その他にも見ている楽しい資料がたくさん展示されています



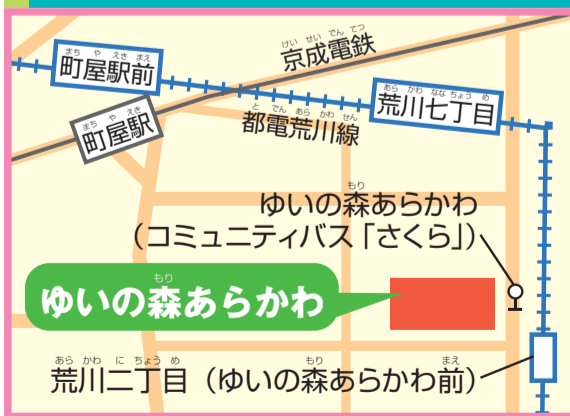
ゆいの森あらかわ3階の企画展示室では、定期的に変えてさまざまな展示を行っている。現在は、子どもから大人まで楽しめる「エイケン アニメ展」を行っている。アニメ制作会社エイケンが、これまで制作してきたたくさんの作品のセル画やキャラクター設定、台本など貴重な資料が展示されている。今号では、ジュニア記者がエイケンを訪問して、アニメがどのように作られているのかレポートするぞ。

ゆいの森あらかわでは、区内にあるアニメ制作会社の株式会社エイケンと協力して、10月9日まで「エイケンアニメ展」を開催しています。「サザエさん」などのアニメづくりに使われていたセル画などがたくさん展示されているので、みんなで見に行こう。

問合せ ゆいの森あらかわ ☎(38091)4349
広報課 ☎内線2139



「ゆいの森あらかわ」開館記念企画展 エイケン アニメ展 ～あの名作は荒川区で生まれた～



- ◆ 期間 10月9日(月・祝)まで
 - ◆ 場所 ゆいの森あらかわ 3階企画展示室 荒川二丁目50番1号
 - ◆ 開館時間 午前9時30分～ 午後8時30分
 - ◆ 観覧料 無料
- ※9月14日(木)・15日(金)、9月21日(木)は休館

仙人掌落◎小島 功・エイケン、鉄人28号◎光プロダクション・エイケン、エイトマン◎平井和正・桑田二郎/TBS、スーパーゼッター◎TBS、宇宙少年ソラン◎TBS、遊星少年パイロ◎エイケン、遊星仮面◎エイケン、冒険ガボテン島◎TBS、スカイヤーズ5◎TBS、サスケ◎白土三平◎エイケン、忍風カムイ外伝◎白土三平◎エイケン、サザエさん◎長谷川町子美術館、のらくろ◎田河水泡/講談社・エイケン、UFO戦士ダイアポロン◎1976 雁屋哲・エイケン、キャプテン◎ちばあきお・エイケン、ガラスの仮面◎美内すずえ/エイケン、六三四の剣◎村上もとか/小学館・エイケン、ハイあっこです◎みつはしちかこ・エイケン、コボちゃん◎植田まさし/植田プロダクション・エイケン、クッキングパパ◎うえやまとち/講談社・エイケン、プレイボール◎2005 ちばあきお/エイケン・プレイボール製作委員会、ぼのぼの◎いがらしみきお/竹書房・フジテレビ・エイケン




あらかわ区報 Jr. は荒川区ホームページでご覧になれます。
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/koho/koho/arakawakuhojr/index.html>



次は11月に発行する予定です

3 作画 動きの基になる原画を描く




▲キャラクターには細かい設定があり、その通りにキャラクターを描いていきます

絵コンテを基に、キャラクターの動きのポイントになる原画を描きます。その後、人物などの動きが滑らかなように動画を描きます。1秒間のアニメのために8枚以上の動画を描いているそうです。

2 演出 絵コンテを作る

シナリオができあがると、それをどのようにアニメにするかを考え、絵コンテを作ります。絵のイメージと動きを決め、セリフや効果音、音楽の入るタイミングも考え、楽しい作品になるように工夫していきます。


▼細かく演出が書き込まれた絵コンテに感心するジュニア記者



1 文芸 シナリオを作る

▲シナリオは、放送日に合わせて季節の行事などをテーマにした話を作られます

アニメ制作はシナリオづくりから始まります。サザエさんの場合は、原作の4コマ漫画を基にしながら、主役やテーマを決めて脚本家がシナリオを作成します。



ジュニア記者がエイケンを訪問

アニメの制作現場を見てきたよ!



区内にあるエイケンを第三瑞光小学校6年のジュニア記者が訪問。アニメの制作方法を教えてもらいました。



4 仕上げ パソコンで彩色して仕上げる

手描きの動画をパソコンに取り込んで細かな修正を行い、パソコン上で色をつけていきます。使う色はキャラクターによって決まっていますが、設定されていない場合は、全体のバランスを見ながら色を決めます。

▲サザエさんもキャラクターごとに色が決まっています。季節によって少しずつ変えているそうです

5 美術 背景を描く

▲「ぼのぼの」など最近の作品はパソコンで背景を描きます

背景はキャラクターとは別に作成されます。サザエさんは、昔からの雰囲気を変えないように今もポスターカラー(絵の具)を使って手で描かれています。背景は、アニメの世界観を表現する重要なものです。




アニメができる様子を紹介するよ!!

▲左から井坂陸くん、菊地アナスタシヤさん、長嶋一樹くん、佐伯果音さん

サザエさん1話に1300枚も動画が必要

アニメ好きのジュニア記者。アニメの制作現場を見学できるとあってワクワクしながらエイケンを訪問。社内は、演出家やアニメーター、美術、撮影、編集など、たくさんの方の協力のおかげで、静かに作品づくりに集中する張り詰めた雰囲気。ジュニア記者たちは、少し緊張しながら社内をまわり、アニメが作られる現場を見学しました。

アニメづくりの第一段階、シナリオ制作の部屋には、サザエさんの原作である4コマ漫画の本がたくさん。「見たことある!」とジュニア記者、今もこの原作を基に脚本家がシナリオを作っていることを教えてもらいました。また、アニメの原画を描く作業室では、アニメーターさんたちが、絵コンテに沿ってキャラクターや背景の線画を一枚ずつ丁寧に描いていました。サザエさんのアニメ1話分を作るために約1300枚もの動画が必要だと聞いて、ジュニア記者は思わず驚きの声をあげました。

「こまやかなプロの技が楽しい作品を支えている」


できあがった動画はパソコン上で彩色され、美術部門の人が手描きなどで仕上げた背景と一緒に撮影をして、少しずつ見えていきます。そして最後に放送時間に合わせて編集されてやっとアニメが完成。ジュニア記者たちは、「アニメづくりがこんなに大変だとは知らなかった」と驚いていました。

ゆいの森あらかわでの「エイケンアニメ展」では、ジュニア記者が取材したアニメの原画や、昔のアニメ制作で使っていたセル画、キャラクター設定などの貴重な資料をたくさん展示しています。みんなもなかなか目にするのができないアニメ制作の世界を、ぜひ見に来てください。

防災部活動レポート

全区立中学校 9月1日、ゆいの森あらかわで「荒川区中学校防災部釜石市等被災地訪問報告会」が行われました。8月2、3日に各中学校から2名、計20名が参加した被災地訪問の報告や、現地での交流をした釜石東中学校生との話を発表。報告会では、写真や文章を盛り込んで作成した資料とともに、「震災、津波の恐ろしさを風化させない」とメッセージを込めたレポートを披露しました。

▲「自分たちにできること」を力強い言葉で伝えました





7 編集 放送時間に合わせて編集する

最後に、放送時間にぴったり収まるように時間を調整するとともに、絵コンテの演出に合わせて、面白くテンポ良く見られるように編集を行います。サザエさんが「えへへ」と笑う何気ないシーンも、気持ちが伝わるように、ちょうどよい長さに調整されているのです。


▼どこを削ってどこを長く見せるか。作品づくりの情熱に驚き

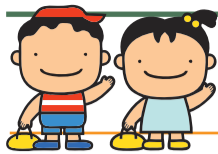
▲「自分たちにできること」を力強い言葉で伝えました

6 撮影 素材を合わせて映像にする

キャラクターと背景を合わせて、映像にしていきます。この段階でようやく普段テレビで見ているアニメのようになってきました。昔はセル画を一枚ずつカメラで撮影してアニメを作っていましたが、今はすべてパソコン上で制作します。





学校訪問

部活動

学校自慢



▲黒板アートプロジェクト ▲みんなで仲良く活動しています

諏訪台中学校

西日暮里2-36-8

生徒が部活動を紹介します
美術部

活動内容は、学校行事の看板や装飾、コンクールに応募するポスター作成、レタリング検定の受験、秋の文化祭で発表するオリジナルショートムービーの作成、冬の文化祭で展示する油絵や美術館レポートまとめ、卒業式・入学式での黒板アートプロジェクトなど盛りだくさんです。美術は、自由な発想が大切なので、普段からいろいろな

私たちが諏訪台中学校美術部は、1年生6名、2年生7名、3年生10名の計23名で活動しています。顧問は、大黒洋平先生と石川薫先生です。基本の活動日は、火、木、金の週3回で、行事前は毎日活動します。

発想力を高める ことにも興味をもつて取り組んでいます。また、ペースで、都内の美術館へ遠足に行っています。ショートムービーは、コマ撮りなので、とても時間がかかります。大変ですが、完成した時の達成感と喜びは大きいです。

運動会や文化祭の看板づくりでは、部員が協力してレタリングやデザインをします。今後も、学校行事に彩りをそえていきたいと思っています。

執筆 部長 3年 窪田花鈴

第六日暮里小学校

西日暮里6-35-16

学校の自慢を児童が紹介します

12月に行われるもちつき会では、おやじの会、PTAの人たち、そして私たち6年生が中心となり、おもちをつきます。みんなであつたおも

「よいしょ！よいしょ！」の声に合わせ、運動会では川音頭を踊っています。また、今年、町会から法被を借り、5・6年生で心を一つに運動会を成功させました。

私たちが通う、第六日暮里小学校のいいところは、PTAの人たちや地域の人たちととても仲がいいところです。PTAのみなさんは、私たちのためにさまざまな行事を考えてくれています。

六日小の子どもたちは、PTAの人たちや地域の人々と深い関わりがあります。私たちは、たくさんの人たちに支えられているこの六日小が大好きです。こんなすてきな第六日暮里小学校が100年も200年も続いてほしいと思います。

執筆 6年 今野琉華 吉村榎江



▲みんな大好き六日小まつり ▲北部町会の法被を着て発表した六日小ソラン

困っている高齢者の手助けをした赤土小学校5年生の児童5人が区役所を訪れ、西川区長から感謝状が手渡されました。児童5人は4年生のときに、区が実施している「認知症サポーター養成講座」を受講しており、今回の手助けの際に役に立ったそう。



▲「えらかったね。ありがとう」と、西川区長は感謝の気持ちを伝えました

8月21日、「全国中学校卓球大会」に出場する尾久八幡中卓球部の壮行会が行われました。「日ごろの練習の成果を発揮し、素晴らしい大会にしてください」と西川区長。選手たちに温かいエールと拍手が贈られました。

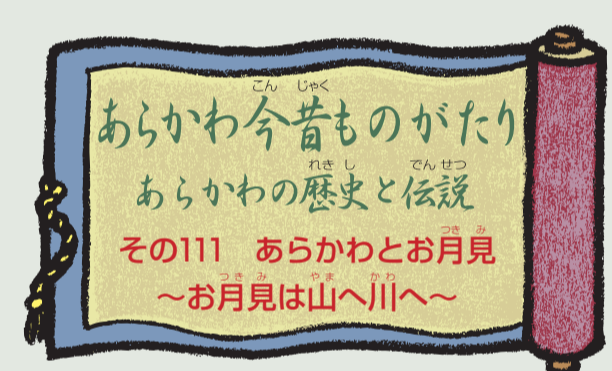
主将は「昨年の成績を越えられるようがんばります」と宣言

秋になると、空が高く青々として爽やかな風がわたるよね。夜になれば、スズムシやコオロギの鳴き声が聞こえ、空には星や月がくつきり見えるようになる。そろそろお月見のシーズンだね。

人は昔から太陽や月の恵みで豊かな実りが得られ、健やかな暮らしができる信じ、空を見上げては感謝の気持ち込めて手を合わせてきたんだ。月を見るには、旧暦（昔

江戶時代のガイドブック「江戸名所図会」や、年中行事の本「東都歳事記」に人気のスポットがたくさん紹介されている。特に、隅田川。船に乗ってお月見をするんだ。どの辺りが人気だったのかというと、真崎（南千住三丁目、石浜神社付近）、汐入（南千住八丁目）や対岸の綾瀬の辺りだよ。

何故、船の上なのか？ 何と、船から見ると空の月では無く、川面に映った月なんだ。大きく川がカーブしている汐入は川幅が広い。特に



お月さんに感謝！ 月を見る特別な日、それがお月見だ。お月見といえは、旧暦7月の「二十六夜待」、旧暦8月の「十五夜」、旧暦9月の「十三夜」等があるよね。

特に仲秋の名月「十五夜」と「十三夜」には、机の上にお団子・ススキ・柿・栗・枝豆・里芋などの秋の味覚をお供えし、お家で月を眺めたんだ。

次に、隅田川。船に乗ってお月見をするんだ。どの辺りが人気だったのかというと、真崎（南千住三丁目、石浜神社付近）、汐入（南千住八丁目）や対岸の綾瀬の辺りだよ。

問合せ 荒川ふるさと文化館 (3807) 9234



東京都名所 道灌山虫聞之図 (満光寺蔵)